

小千谷地区納税貯蓄組合連合会長賞

絶対に必要な税金

長岡市立川口中学校

三年 山田 世志紀

僕が、税金について気になり始めたのは、小学生の時に自分の教科書が税金によってまかなわれていることを知ったからです。でもそのときは全く興味がありませんでした。その後、自分が買い物などするときにつく消費税に興味がわきました。そもそも消費税とはいったい何なのかを知りたくなりました。調べてみると消費税は、あらゆる商品の取り引きに課税され、多くの人から少しずつ平等に税を集めることを目的としているということでした。また、消費税を調べるにあたって消費税は税金の一部であつてほかにも様々な種類の税があることが分かりました。まず国税と地方税は、国と地方公共団体に納める税だと知りました。また、所得税や法人税、揮発油税、固定資産税、事業税などといった様々なものに税金がかけられていることも知りました。

そもそも、なぜ税金を納めなくてはいけないのかが気になりました。税金とは、高額の商品を買うほど、または働いてたくさんかせぐほど負担が重くなるものという認識で、僕にはあまり良いイメージがありませんでした。それでもなぜ税金を払わなくてはいけないのかを調べてみると、道路や上下水道といったインフラや病院、警察、消防などの国民生活に必要な設備やサービスを提供するには莫大な費用がかかり個人や企業で

は対応できないのでこれらを政府にやってもらわなければならない国民が全員で負担しなければなりません。税金は社会で生きるうえでの会費、サービスの対価だということです。僕は先日長岡市の派遣事業で広島に行きましたがそのときは全く気にしていませんでしたが今思うと広島への交通費なども長岡市の税金が使われていることを調べているとき気づきました。自分の身近なところで税金が使われていて、かなり驚きました。税を納めるからこそ安心して生活ができることが分かりました。僕は税金には悪いイメージをもってしまっていました。今自分が何不自由ない生活や学校生活をおくるためには税金の存在が必要不可欠だと感じました。今はまだ僕は消費税ぐらいしか納めていませんがこれから大人になって社会人になることで自分が働いたお金で様々な税金を納めなくてはいけなくなります。そして、一人の国民として、自分は今税金のありがたさが分かったので、しっかりと国民の勤めをはたさなくてはいけないと思います。国は税金があつてこそ回っていると僕は感じました。毎日何気無くあいさつする近所の人も、親戚の人も、歩いているときに出会う見知らぬ他人でもその人たちが税金を払ってくれているから僕が病気になったときに控除してもらえたり教科書が無償でもらえたりする、他人だと思っている人でも実はつながっているのだと思います。この作文を書くことで税金のありがたさを確認しました。感謝の気持ちを持ち教科書を大切に学びたいです。